

共謀罪
学習会
学白会

ストップ！改憲 と治安立法

9/24

9月24日(火)
午後6時半～
エルおおさか709号室
資料代500円

—新自由主義時代の立憲主義？—

7月の参院選で自公が圧勝して、自民党が昨年明らかにした草案に基づく改憲のおそれが現実のものとなってきました。憲法9条の改悪はよく知られていますが、それだけではなく、「人権」や「統治構造」が根本的に変えられます。

また、この秋の臨時国会以降、集団的自衛権行使への踏み込み・国家安全保障基本法・武器輸出3原則の形骸化、盗聴法改悪・共謀罪・秘密保全法の新設などが目白押しですが、その内容は、改憲を先取りして実質化するものに他なりません。

自民党はどのような改憲をめざそうとしているのか。そして、戦争と治安法のエスカレートはどのように改憲を準備し、改憲につながるのか。そもそも、このような動きはどこから来るのか。そのことをみなさんと考えてみたいと思います。

講師

永嶋 靖久
さん

永嶋靖久（ながしま・やすひさ）さんのプロフィール
弁護士 1955年生まれ。1984年より弁護士登録（大阪弁護士会）。1989年 枚方法律事務所開設。
大阪労働者弁護団所属。

■主催：共謀罪に反対する市民連絡会・関西

〒540-0038 大阪市中央区内淡路町1-3-11 シティコープ上町402

市民共同オフィス SORA 気付 問合せ先：090-1711-0710（永井）

